

## 海上の森自然環境保全地域維持管理事業について

## 1 シデコブシの保護

海上の森のシデコブシは、周辺樹木の生育が進んだことにより日照不足となるなど、開花や結実が行われにくくなり、その生育が懸念されていた。

そこで、平成 19 年度から平成 23 年度において屋戸川・寺山川野生動植物保護地区の一部区間において、試験的な除間伐による光環境改善効果の調査を実施した。(名古屋大学へ調査委託)

本年度は、この調査結果に基づき当保護地区において実際に除間伐を行い、シデコブシの保全を図ることとする。なお、本作業においては、環境意識の高い企業の協力を得ることとし、上記調査を委託した名古屋大学の指導・助言を受けて実施する。(県と企業において作業協定を締結後、秋頃予定。)

## 2 スミレサイシンの保護

スミレサイシンの生育地(四ツ沢北東部野生動植物保護地区)において、平成 21 年度に二次林内に侵入し、荒れた竹林について、除伐等を行ったが、その結果、日照が良くなり、チヂミザサ等の雑草が繁茂してしまっ。このため、平成 22 年度から海上の森の会と協働して除草作業を行っている。

本年度も同じ作業を実施(9月6日予定)し、その後の経過を見ながら、順応的な管理に努める予定である。

## 3 湿地の保全

屋戸川流域の湿地について、遷移が進み、貧栄養湿地としての特性が失われるおそれがあったため、海上の森の会と協働してアシやヌマガヤなどの枯れ草を除去している。

本年度も同じ作業を実施(12月下旬予定)し、その後の経過を見ながら、順応的な管理に努める予定である。



図：海上の森自然環境保全地域における希少種保全対策